

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成23年4月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成23年3月分(平成23年2月28日～平成23年4月3日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	12,485	21.71	8.29		10	百日咳	24	0.07	0.06	
2	RSウイルス感染症	82	0.23	0.32		11	ヘルパンギーナ	21	0.06	0.05	
3	咽頭結膜熱	263	0.73	0.37		12	流行性耳下腺炎	348	0.97	0.76	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,340	3.72	1.66		13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
5	感染性胃腸炎	3,844	10.68	10.09		14	流行性角結膜炎	58	0.61	1.18	
6	水痘	411	1.14	1.62		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	90	0.25	0.58		16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
8	伝染性紅斑	164	0.46	0.17		17	マイコプラズマ肺炎	12	0.11	0.24	
9	突発性発しん	172	0.48	0.52		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成23年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	53	2.41	2.20		23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	103	4.90	5.81	
20	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.05	0.76		24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	19	0.90	1.37	
21	尖圭コンジローマ	7	0.32	0.62		25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	-	
22	淋菌感染症	20	0.91	0.82		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.15	

「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

急増疾患 手足口病(34件 90件)
伝染性紅斑(74件 164件)
ヘルパンギーナ(7件 21件)

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象8疾患)について、県内178(今月は177)の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13,14	19～22	15～18,23～25	
定点数	43	72	19	22	21	177

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	119	結核(119)〔西部保健所(7),西部東保健所(9),東部保健所(25),北部保健所(2),広島市保健所(26),呉市保健所(31),福山市保健所(19)〕
三類	6	細菌性赤痢(5)〔広島市保健所〕,腸管出血性大腸菌感染症(1) O157〔広島市保健所〕
四類	2	A型肝炎(1)〔広島市保健所〕,オウム病(1)〔広島市保健所〕
五類全数	10	ウイルス型肝炎(1) C型〔西部東保健所〕,クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所〕,後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕,破傷風(1)〔広島市保健所〕,バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所〕,麻しん(4)〔東部保健所〕

3 一般情報

(1) 海外で注意すべき感染症について

ゴールデンウィークに海外に渡航される方は、健康で快適に旅行して帰国するためには、次表にあるような感染症に対する注意が必要です。

主な感染源	主な感染症	主な発生地域	主な症状	予防接種	予防策
食べ物 水	E型肝炎	世界各地	発熱,倦怠感,黄疸		十分火の通った食べ物を食べる
	A型肝炎	発展途上地域	発熱,倦怠感,黄疸		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする
	赤痢		発熱,下痢,腹痛		
	腸チフス		持続する高熱,下痢,倦怠感		
	コレラ		大量の水様便,嘔吐,脱水症状		
蚊	マラリア	熱帯	周期的高熱,悪寒,冷汗	予防薬	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用
	デング熱	亜熱帯地域	高熱,筋肉・関節痛,発疹,目の痛み		
	日本脳炎	アジア	高熱,昏睡,意識障害,頭痛		
	黄熱	アフリカ 南アメリカ	高熱,頭痛,筋肉痛,悪寒,嘔吐		
	ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	発熱,頭痛,筋肉痛,倦怠感		
	チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	高熱,頭痛,筋肉・関節痛, 倦怠感,発疹,関節腫脹		
動物	狂犬病	世界各地	発熱,治癒した受傷部の痛み, 知覚過敏,怖水・怖風症状		むやみに動物に触らない 犬等の咬傷を受傷後の予防注射
	鳥インフルエンザ	東南アジア	発熱,呼吸器症状		鳥類との接触を避ける 手洗い,うがいの励行
その他	寄生虫症	世界各地	発熱		衛生的な食堂での食事,手洗い

出発前に渡航先の感染症の流行状況等に関する情報を入手しておくことは非常に大切です。詳しい情報は、厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページなどをご覧ください。

(2) 結核について

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気ですが、3月の報告数が119件あり、平成19年4月に結核が二類感染症として届出対象となって以降、月単位では最も多い報告がありました。

結核の感染経路は、結核患者の咳やくしゃみが小さな粒子(飛沫核)となって、長時間空中を漂い、ヒトが飛沫核を吸い込むことによって感染します。(空気感染)

ただ、結核に感染してもすべてのヒトが結核を発症するわけではありません。通常は免疫により発症には至りませんが、体調や栄養状態等の影響により発症することとなります。

結核は、3,4種類の抗結核薬を6~9ヶ月間服用して治療しますが、治療せずに重症化すれば、治療は困難となり、体力のある若い人でも死に至ることがある病気です。また、不適切な薬の飲み方をしたり、勝手に服薬を中止したりすると生き残っている耐性菌が増殖し、治療が難しくなります。

注意点	結核は、過労や睡眠不足,栄養不足などにより抵抗力が弱まったときに発病すると言われておりますので、日ごろから健康管理に注意して,規則正しい生活を心掛けてください。 また,乳幼児が結核になると進行が早く,生命にかかわることがありますので,生後6ヶ月未満の乳児は,市町が実施しているBCG予防接種を早期に受けましょう。
早期発見のために	結核の初期症状は,咳やタンなど風邪の症状によく似ています。2週間以上,咳が続く場合には,風邪だと思わずに,医療機関を受診しましょう。 早期発見は,重症化を防ぐだけでなく,大切な家族や職場などでの感染拡大を防ぐためにも重要です。 注)結核は,肺の病気というイメージがあり,確かに最も多い感染部位は肺ですが,結核菌が冒すのは肺ばかりではありません。このような肺外結核の場合,発見が難しくなります。